

20年3月期 第1四半期 連結業績について

上席執行役員

岡 恭彦

2019年7月29日

- 連結業績サマリー
- 業績概要（P L、受注高、受注残高）
- 売上区分別（売上高、受注高、受注残高）
- 業種別売上高
- セグメント別業績
- 営業利益の増減分析
- 要約連結BS
- 業績予想
- 中計経営計画 基本戦略の進捗
- 働き方改革への評価・インデックス採用

売上高

90,967

百万円

前期比

+13.5%増収

営業利益

7,833

百万円

前期比

+23.7%増益

営業利益率

8.6 %

前期比

+0.7%向上

受注残高

134,357

百万円

前期比

+10.8%増加

(単位：百万円)

	19年3月期	20年3月期	増減額	増減率
売上高	80,166	90,967	10,801	13.5%
売上総利益	19,249	21,711	2,461	12.8%
売上総利益率 (%)	24.0	23.9		
販売管理費	12,916	13,877	961	7.4%
営業利益	6,333	7,833	1,500	23.7%
営業利益率 (%)	7.9	8.6		
経常利益	6,588	8,131	1,543	23.4%
当期純利益	4,301	5,542	1,240	28.8%
受注高	84,379	87,936	3,557	4.2%
受注残高	121,259	134,357	13,098	10.8%

（単位：百万円）

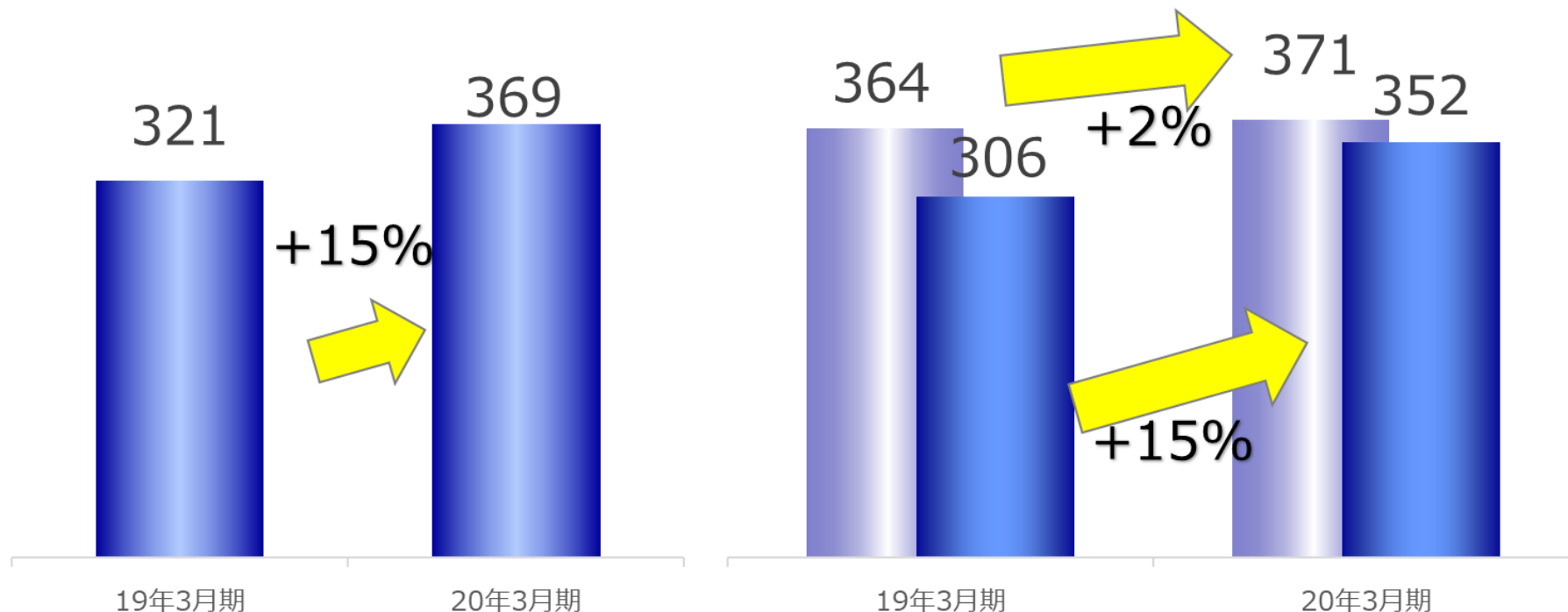
	売上区分	19年3月期	20年3月期	増減額	増減率
売上高	システム開発	32,154	36,936	4,781	14.9%
	保守運用・サービス	32,079	34,068	1,989	6.2%
	システム販売	15,933	19,962	4,029	25.3%
	合計	80,166	90,967	10,801	13.5%
受注高	システム開発	36,466	37,110	644	1.8%
	保守運用・サービス	29,591	30,041	450	1.5%
	システム販売	18,322	20,784	2,462	13.4%
	合計	84,379	87,936	3,557	4.2%
受注残高	システム開発	30,609	35,293	4,684	15.3%
	保守運用・サービス	79,075	83,689	4,614	5.8%
	システム販売	11,574	15,374	3,799	32.8%
	合計	121,259	134,357	13,098	10.8%

（単位：億円）

■ 売上高

■ 受注高

■ 受注残高



売上高：戦略的投資やERP・CRM等のシステム更新需要、業務効率化や省力化を目的とした需要が堅調に推移

受注高：通信業向け大型案件の反動減があるものの増加

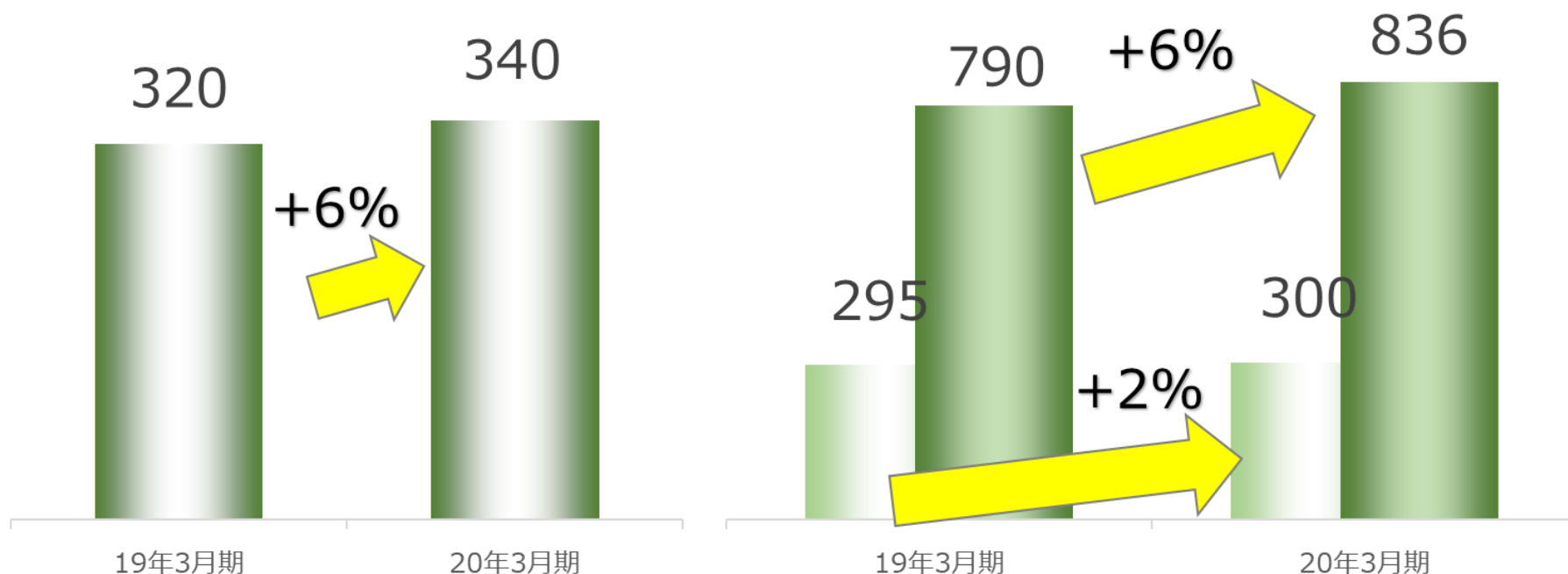
受注残高：通信業、電力・ガス業を中心に様々な業種の積上げ

（単位：億円）

■ 売上高

■ 受注高

■ 受注残高



売上高：システム開発の動向を反映したシステム保守ビジネス拡大、製品開発時の検証サービス、基幹系システムのクラウド型提供、製品サービスに対するBPOサービス等が堅調

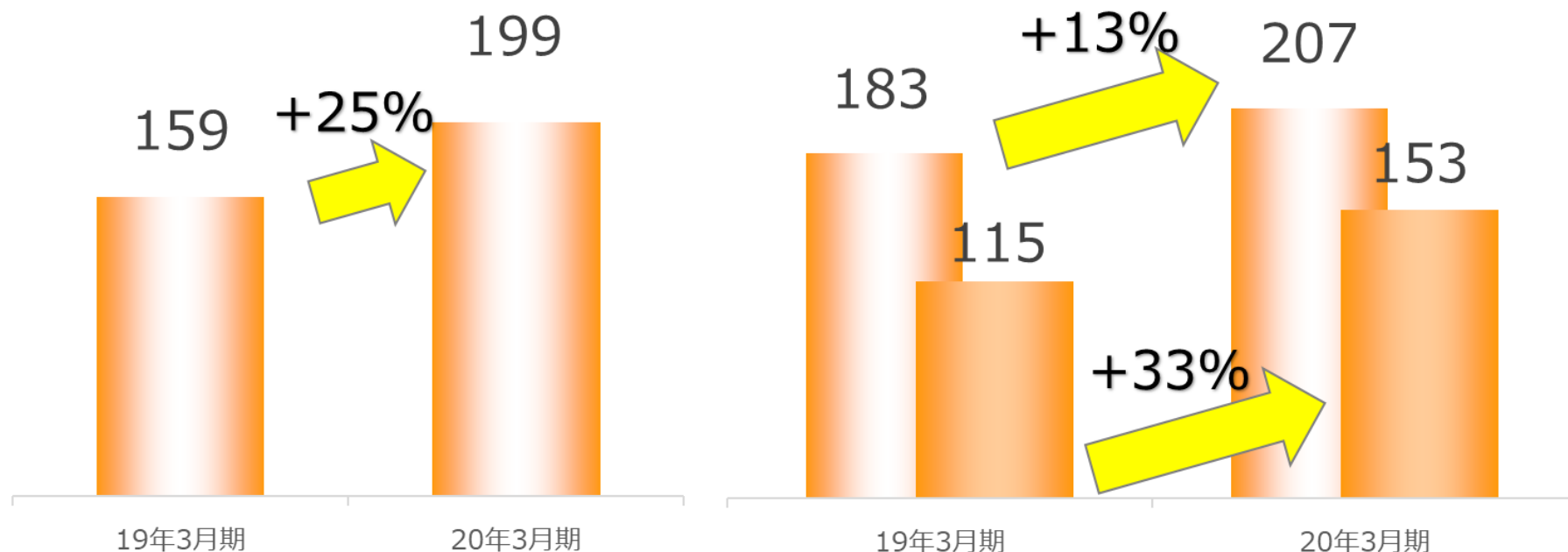
受注高・受注残高：BPO案件、データセンター関連ビジネスの積上げ

（単位：億円）

■ 売上高

■ 受注高

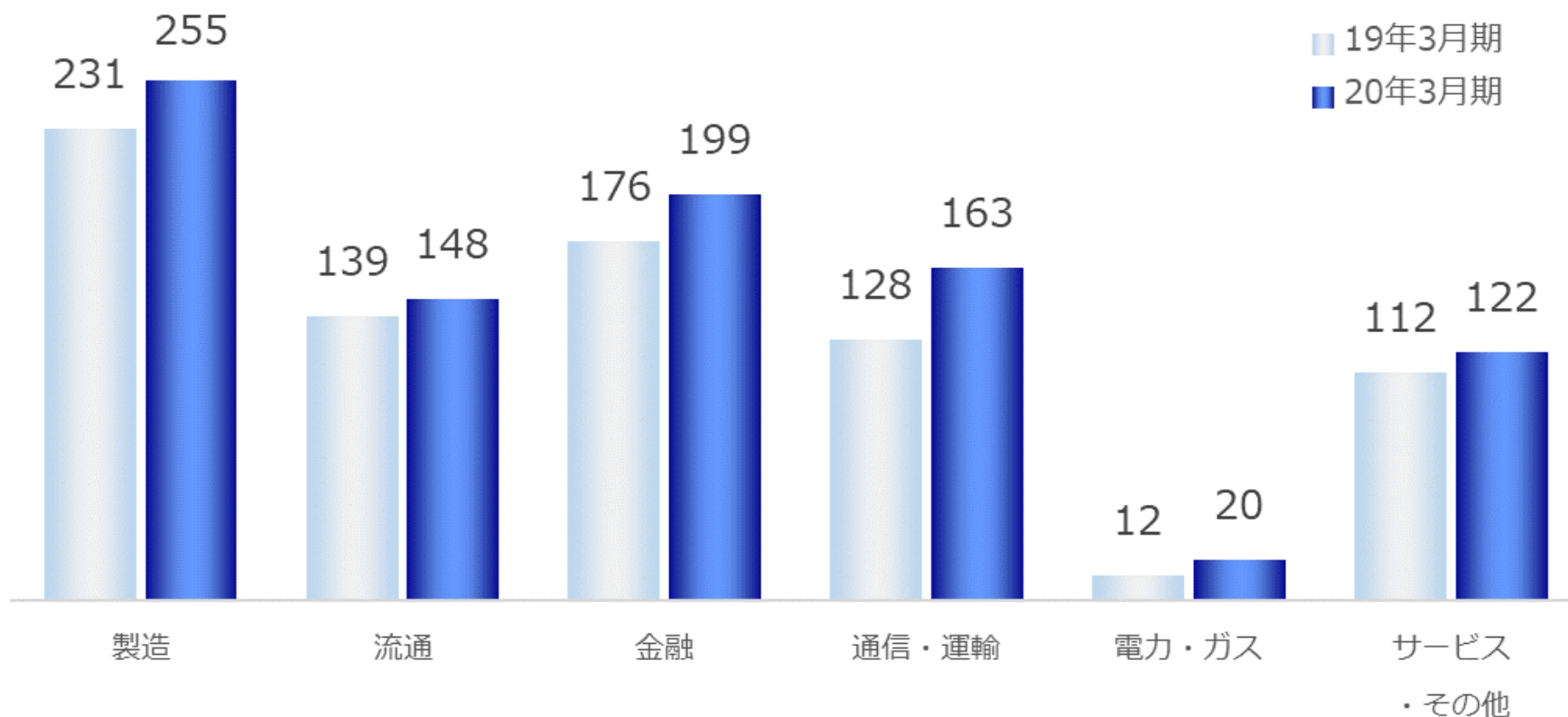
■ 受注残高



売上高：通信業向けネットワーク機器販売、製造業向けハードウェア販売が増加

受注高・受注残高：通信業向けネットワーク機器、
学術研究機関向けハードウェアの受注が増加

(単位：億円)



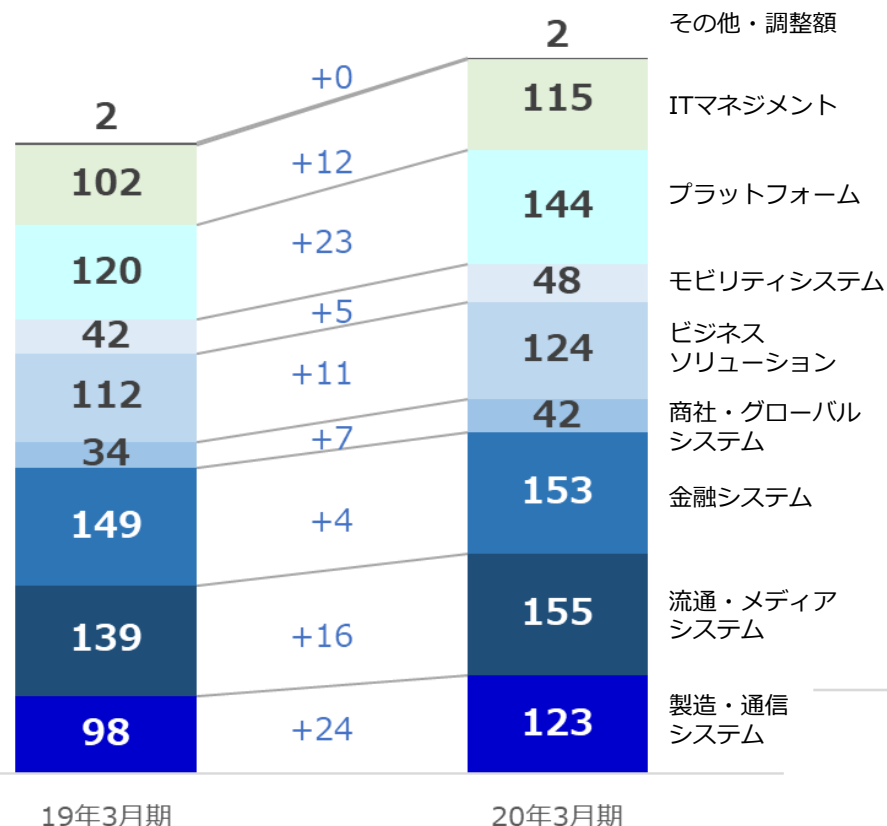
<各業種の売上高増加要因>

- 製造 : 自動車業向けビジネス、製品サービスに対するBPOサービス等
- 流通 : 基幹システム再構築等
- 金融 : 銀行・生損保・リース業における各種システム更新
- 通信・運輸 : 通信業向けネットワーク機器販売、運輸業向けシステム更新
- 電力・ガス : 次世代システム関連等

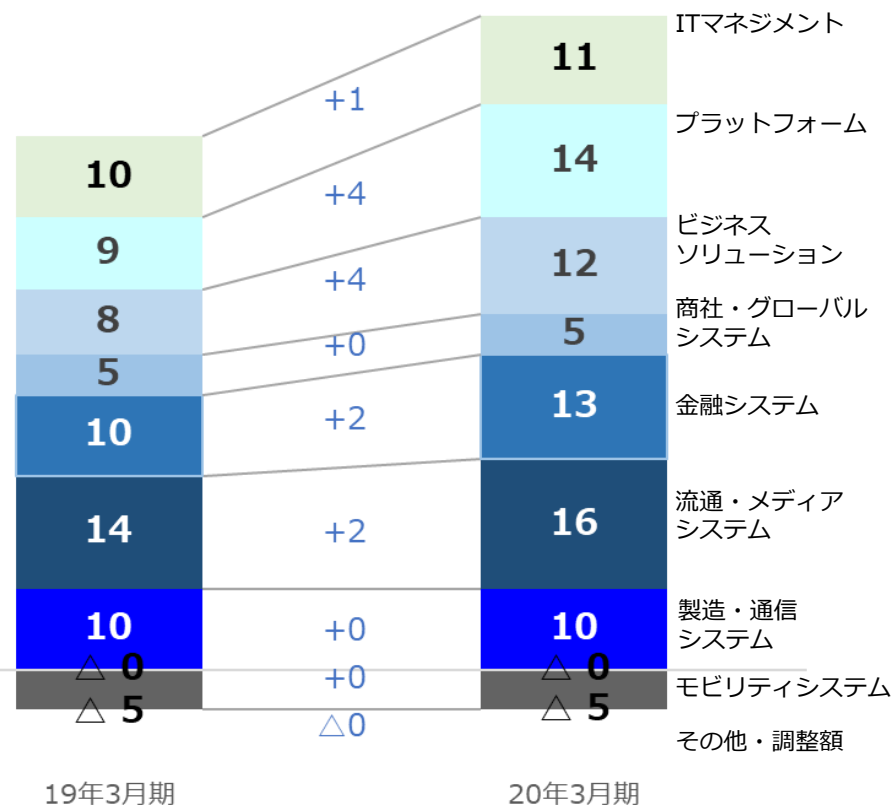
20年3月期第1四半期決算 セグメント別業績

(単位：億円)

売上高



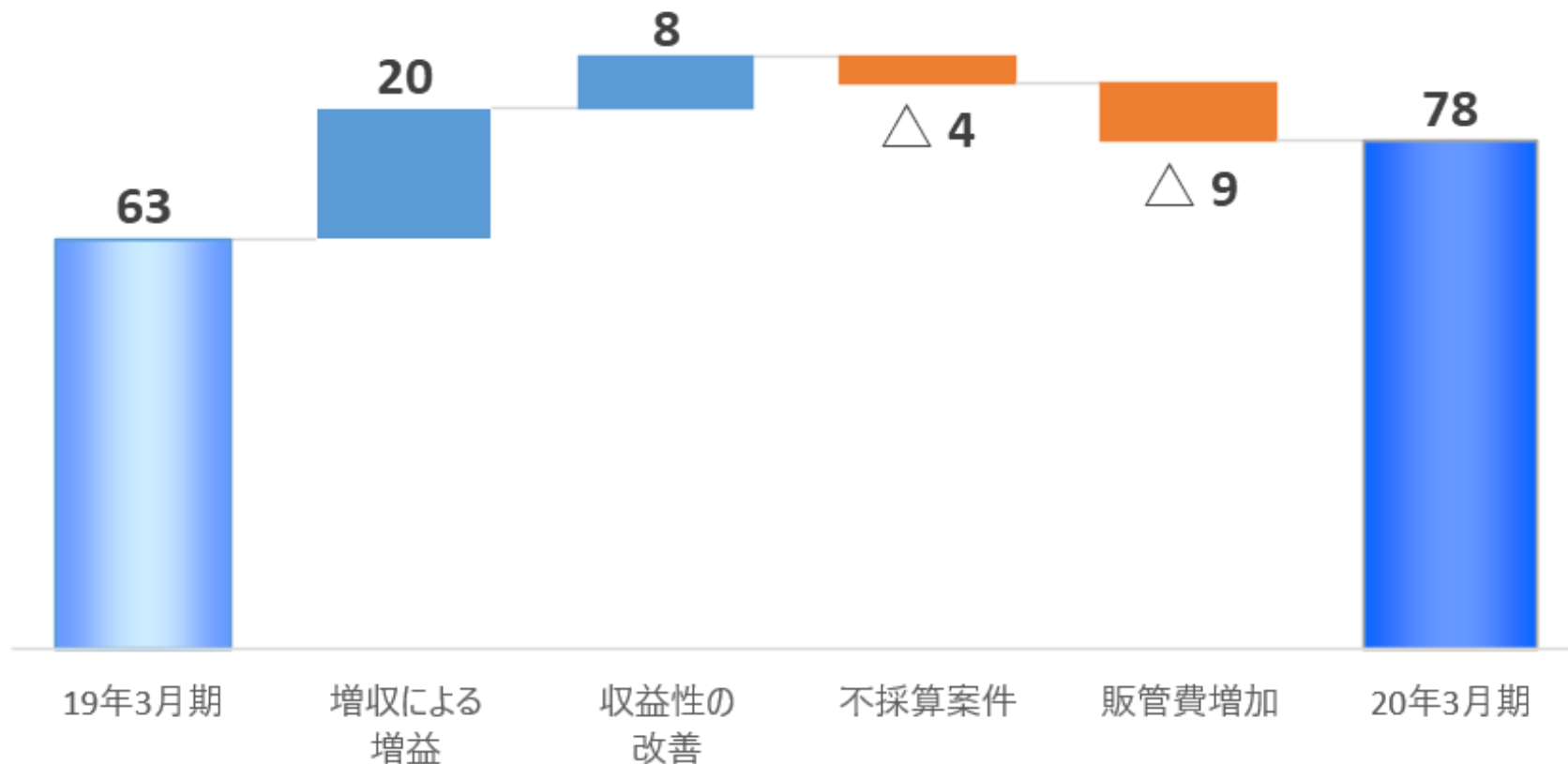
営業利益



- モビリティシステム：車載システム事業「QINeS-BSW」投資費用含む
- 製造・通信システム：不採算案件の影響により増益率 3 %

20年3月期第1四半期決算 営業利益の増減分析

(単位: 億円)



＜販管費の増加要因＞

- 昨年度の好業績による業績賞与の支給額増
- 事業投資および研究開発費、50周年イベント費用他、各種費用増

20年3月期第1四半期決算 業績予想

※業績予想は変更なし

(単位：百万円)

	20年3月期		19年3月期 通期
	上期	通期	
売上高	180,000	380,000	358,654
営業利益	17,500	41,000	38,378
営業利益率 (%)	9.7%	10.8%	10.7%
経常利益	17,500	41,000	38,650
当期純利益	12,000	28,000	27,892

20年3月期第1四半期決算 要約連結BS

(単位：億円)

19年3月31日時点

総資産 3,148



自己資本比率 61.4%
1株当たり純資産 1,862.78 円

19年6月30日時点

総資産 3,101



自己資本比率 62.1%
1株当たり純資産 1,855.11 円

サービス提供型ビジネスへのシフト

時代の変化を捉えた戦略的事業の推進

グローバル展開 第2ステージ

経済産業省「100選プライム」
全社的かつ継続的な
ダイバーシティ経営に取り組む企業として選定



東洋経済新報社主催、内閣官房・厚生労働省後援
「プラチナキャリア・アワード」で最優秀賞を受賞



経済産業省及び東京証券取引所による
『「健康経営銘柄」及び「なでしこ銘柄」
に5年連続で選定』



ESG投資のためのインデックス構成銘柄に選定

- ・ FTSE4Good Index Series
- ・ MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- ・ S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- ・ FTSE Blossom Japan Index
- ・ MSCI日本株女性活躍指数（WIN）

＜ 当資料利用上の留意点 ＞

- ・P8に記載の売上高前期比較（業種別）については、一部計上業種の見直しを行ったことにより、前年度の業種別売上金額を組み替えております。
- ・P9に記載のセグメント別連結業績については、当期にセグメント区分の変更を行っていることから、前年度の実績についても、変更後のセグメント区分に組み替えております。

＜ 免責事項 ＞

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

- 19.07.11 ESG投資のためのインデックス（株価指数）構成銘柄に採用
- 19.07.08 SCSK、米国Workspot社と「Workspot Cloud VDI」の代理店契約を締結
- 19.07.04 給与計算業務BPOサービスで株式会社ベネフィットワン・ペイロールとの協業を強化
- 19.07.02 マツダ株式会社および地域に根付く人財育成プラットフォーム構築支援を開始
- 19.07.01 カメガヤでQRコード決済サービス「Alipay（支付宝）」「WeChat Pay（微信支付）」「LINE Pay」「PayPay」を導入
- 19.06.07 マネー・ロンダリング対策システム「BankSavior®シリーズ」に顧客管理システム「BankSavior ScoreBoard」を加え、提供開始
- 19.06.06 マツダ株式会社がSCSKのAUTOSAR準拠「QINeS BSW」の検証を開始
- 19.06.03 SCSKグループ 沖縄新拠点（沖縄県浦添市）開設について
- 19.06.03 アクセラレータープログラム「HAX Tokyo」の立ち上げについて
- 19.05.31 米国 Peer Software社との販売代理店契約を締結
- 19.05.28 「PureFlow ドメインフィルタ機能ライセンス」販売開始